

共同企画講義プログラム

- 東京大学教養学部

「〈カストロフィ〉を生きる——地域文化研究から見る災いの経験」(2011年度冬学期)

(「地域文化研究から見る災害と復興支援」(2010年度冬学期))

- 従来別々に捉えられてきた戦争、被植民地化、自然災害、伝染病、犯罪の現場を〈異なるもの〉が噴出する場と捉えなおすことで、新たな課題やアプローチを探る。
- 東日本大震災を受けて「いま、ここで」何をするかに関心が集まる中で、あえて時間と空間の枠を広げて〈災い〉への取り組みを捉えなおす試み

(例) 災害対応の現場＝他者理解の枠組が揺らぐ
⇒ 学術研究の枠組の再編 ⇒ 新たな実践 (*da capo*)

…地域研究の再評価へ

